

〇〇もんずら

奥島教育長コラム No.20 2024.11.1

「はて？」

「学んだ知識はよい家庭をつくることに使いなさい。」

「はて？」 母の言い分に納得いかない寅子

「君、分をわきまえなさい。女のくせに生意気な！」

「はて？」 3回目のお見合い相手になぜ怒られるのかわからない寅子

「婚姻状態にある女性は無能力者である。民法に定めがある。」

「はて？」 全く解せない寅子

NHK朝ドラ【虎に翼】

この「はて？」に魅かれて、毎日2回観ていました。昭和初期の少女時代から「はて？」と言えることが驚きでした。納得いかない、わからないことをそのままにしておかない。思ったことをすべて声に出し、納得いくまで理解するまで考え、その原因を突き止めてよりよい答えを見つけていく。女性

性が学問することが珍しかった時代に、差別や偏見にさらされながらも、女性初の弁護士そして裁判官まで上り詰めた寅子さんの生き方に圧倒されました。

しかし、この「はて？」言うことはたやすいが、誰でも言えるかという難しい。なぜなら、長い間、日本人は「教えられたことを覚える」教育を受けてきました。他人の話に疑問を投げかけるなど、そんなこと…。なかなか「はて？」と疑問をいただく場面がなかった私は、学校現場でたくさんの「はて？」に出会い、子供たちの「はて？」にビシビシ鍛えられました。平成のある年、ある学級では・・・

画：手島 圭三郎



2年 A: ぼくに引力あったらなあ。空を引っ張ったら夜になる？(4月始め)

1年 B: 先生、心ってどのくらい広いの？わたしの身体より大きいの？(7月道德)

1年 C: 先生、ぼくたち寝ているとき、金魚も寝るの？(9月係活動)

2年 D: 机の並べ方、斜めにしてみたいなあ。(11月掃除の時間)

2年 E: バチカンの国旗は、他の国旗の半分なのはなぜ？(12月世界地図一人勉強)

1年 F: 先生たちも宿題あるの？一人勉強は？(12月 帰りの会)

2年 G(日直当番): 「つさんかうこんけ」2年「???'1年「??????」

A: 「いは、すできんげ！」(3月朝の会)

すべての学びの根源が、この「はて？」にありました。子供たちの気づきや疑問のおかげで、一緒に考え解決する時間が充実しました。やがて、「なるほど！」に到達。コンピュータは、データを入れれば問題の解決はできますが、問題の発見はできません。ならば、人間のもつ「はて？」は、ものすごく大切な能力、今こそ必要な力、もしかして私達の翼！かも。